

大地の周囲の田んぼからは、すっかり稲や藁が消えて、4月ごろの田んぼの光景に戻りました。ただ違うのは、周囲の山々が見事に紅葉していることです。大地のスロープの樹木も見事な紅葉を歩み始め、たわわに実る赤いリンゴの木との見事な調和は、素晴らしい秋の訪れを感じさせてくれます。

10月は、子どもたちの働きのお蔭で、大地の周囲には、薪が整然と積みられました。薪運び・薪積みは、とてもクリエイティブで絵画的な仕事（遊び）です。幼児にしたら、積木のような世界です。やるごとに形になっていくのですから。大人にとっても、現実的に実際に目の前にどんどん積み上げられていく、成果が見えていく創造的な作業は、心躍るものですね。また、薪運びに付随する軽トラドライブも魅力的でした。

お蔭で、大地の周囲が綺麗になった分、今度は花壇作りに取り組むことができます。イチゴやチューリップ、菜の花、コスモス等を、子どもたちと植えようと考えています。隣のサンクゼールレストランのお花にはかきませんが、刺激を受けながら、大地風の里山のお花を少しずつ、頑張っ



張って整備していこうと思っています。今から、春の光景が楽しみです。いよいよ11月。北信五岳の山々が雪で染まり、そのも

とで真っ赤なサンふじのリンゴが実り、秋と初冬が混在する季節になります。リンゴ農家では、最も苦勞な重労働になりますが、1年の成果と取り入れの充実感と安堵感と達成感を味わえる季節でもあります。

子どもたちも、秋の働く大人たちのエネルギーや光景に囲まれて、労働の秋を感じて欲しいと願います。

## 【本当に楽しいことは、楽ではないようだ】

(頑張らなくていい・無理しなくていい 症候群)

「私は、他人の人生を生きない」と、人のアドバイスを聞かない事を、中2の時に名言として吐いた長女。末っ子の6月の誕生日の時に、再び名言を末っ子にバースデイメッセージとして送ってきた。

### 「本当に楽しいことは、楽ではないようです。本当に楽しいことを見つけてください」

これはどんな意味だろう。楽だけでは、楽しくないし、懸命に苦勞して頑張り、努力して、限界までに挑戦していくことは、結果的にとても充実感あふれる楽しい事になる という意味で私たちは理解した。

メッセージをもらった末っ子は、現在受験勉強真っ盛り。こちらも、新聞配達を引退して勉強に専念すると思いきや、家庭教師を雇うために新聞配達を続ける道を選び、志望校に向けて日夜努力している。とにかく、志望校で野球をするために頑張っている。そして、週1回の早朝トレーニングも続け、妻と私も相変わらずグラウンドと一緒に玉ひろいやノックを楽しませてもらっている。そして、この秋、末っ子のピッチングを、怖くて受けられなくなった青ちゃんである。

先日、山小屋から帰って来た長男は、最後の1週間に、懸命に志願して、缶ビール4ケース約40キロの荷揚げを、3日連続やらせてもらったらしい。そんな人は今までいなかったという。そして、この記事を書いている横で、明日からバイト先までの2キロの道のりを、50キロの荷物を担いで歩いて往復して通うと言って、ザックに、耐火煉瓦と百科事典を積み込んで背負って、「これはイケル」と喜んでいる。来年のマッキンリーも、これ位は背負うので、最高のトレーニングになると、目をキラキラさせて興奮している。

長女も次男も、それぞれ、傍目で見てもかなり苦しい状況の中で、懸命に頑張っているらしい。

「山登りなんて 一体何のために、わざわざ重い荷物を持って、苦勞して歩いて行くのだろうか」なんていう疑問は、よく聞かれる。大変な事、苦勞する事は、あまり芳しい事ではなく、できれば、無理しないで、頑張らなくていいという風潮がはびこってきているような時代を感じる。

自分の目標や達成レベルを常に一段上において、それを目指してレベルアップを図ったり、何度もくじけずに発明発見解決を目指して日夜研究したりしている人に、「頑張らなくていい・無理しなくていい」なんて、とても言えたものではないし、逆に、そんな人たちは、耳を傾ける暇もないだろう。

子育てについても「頑張らなくていい・無理しなくていい症候群」が多いような気がする。先月号にも書いたが、子どものペースに合わせる・子どもの後追いをする・子どものわがままに振り回される・子どもの自主性（わがまま）を尊重する子育てスタイルに対しては、それ自体が私からすれば無理無謀な事なので、そんな無理難題をしない方がいいとアドバイスできるが。

たくさん子どもを抱えていても、涼しい顔で自分のペースでどんなことでもエネルギーに楽しんでいる人達も多く、そんな人には、症候群の言葉は言えない。

私の経験から言えば、「頑張らなくていい・無理しなくていい」と他人に言葉を発する人は、その人自身が子育てに苦しんでいる（苦しんだ）人が多いような気がする。楽しんできている人は、「こんな事を工夫したら楽しいよ、こうしてみたら面白いよ・大丈夫だよ、改善するよ」という希望的なアドバイスをしてくれる傾向にある。

「我が子や子どもが可愛いとは思えない」「子育てをがんばれない」などという質問などに、「子どもを可愛いと思えなくてもいい」「がんばらなくてもいい」と言ってあげれば、確かに母親は気が楽になり、その場は収まるだろう。しかし、可愛くない、頑張れないという深層心理は変わらないので、その悩みもなくならないと思う。その状況を理解分析して、それに対応した対策を考えねば、根本的な解決にはならないであろう。

「子育ては苦しいもの」「子どもを育てることは大変な事で、頑張らなくてはならないことで苦勞で犠牲的な事でお金もかかること」などという悲観的イメージが現代ではまずメッセージとして伝わっている。

でも、大地からは「子育てはとても魅力的で楽しいし、子どもがいるからこそこんなすごいことを一緒に楽しめる」「子どもがいてもこんな工夫次第でどんな事でもできる」というメッセージを発信したいし、そんな人たちとエネルギーに楽しむ場でありたいと思う。

皆が「がんばらなくていい・無理しなくていい」なんて言うようになると、誰も上を目指して、日夜努力して、レベルアップを図り、限界に挑戦することなんてどんどん減少していってしまうだろう。(決して、そんなことはないが)

自分を信じて、自分の目標やゴールを目指し、自分に頑張ろうと自分にメッセージを送り、一度しかないこの人生の今を、悔いなく思いきり熱く生きたいと思う。もちろん、子ども達にも「逃げないで熱く生きてほしい」と願う。